

市民フォト

No.14

昭和58年9月1日発行

鹿児島

乗馬スタイルに身をつつみ、ちょっと
なみあしと気どって…。常歩で馬場を小一時間。
風がたてがみに流れます。ほおに心地よく感じられます。ふと見上げた空には赤とんぼが飛んでいました。

(人物は、ミス鹿児島 北園まなみさんと上村乗馬苑の松岡道博さん)





もくじ

私の作品

特集・公園(ふれあう・遊ぶ・憩う) 3

スペースは人の心を和やかにする 4 ~ 5

公園の主人公は、やはり子供たち 6 ~ 7

縁は人びとをやさしく包む 8 ~ 9

人物登場(米盛正豪さん) 10 ~ 11

ぼくらの施設めぐり(勤労婦人センター) 12 ~ 15

飛んで22年(西鹿児島駅付近) 16 ~ 17

市民のひろば 18 ~ 20

奥さまこんにちは(濱蘭津代さん) 21

あなたのフォトサロン

祇園祭

キヤンブで語ろう親子のつどい 22 ~ 23

わたしの散歩道(いづろ通り界隈) 24 ~ 25

カメラトピックス 26 ~ 27

あの店この店(国分屋菓子店) 28 ~ 29

市立美術館(富嶽雲烟の図) 30

31

六月灯

田上小学校三年 増森友美

おかあさんと六月灯に行きました。

た。赤や黄色の電とうがキラキラ

とかがやいていました。夜店のお

じさんが「いらっしゃい。とてもや

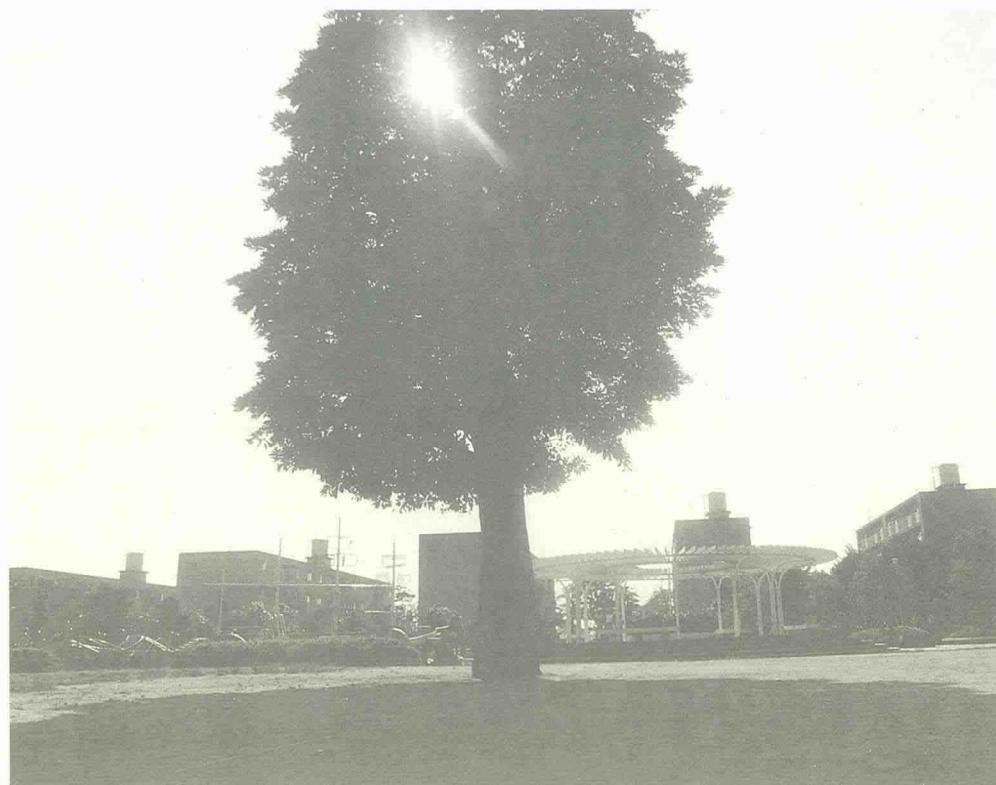
ド、ドーンと大きな音をたてて
花火があがりました。「チカ、チカ、
チカッ、スー、ドーン」と音がしま
した。夢のようでした。

●特集

公園

ふれあつ・遊ぶ・憩う

公園は私たちにとって、やすらぎや憩い、レクリエーションや運動のスペースであり、都市の美観や災害時の避難場所としても大きな役割を果たしています。今回は、わがまちの公園を舞台に織りなされる人びとのさまざまなかまな動き——人間模様を追つてみました。



わが国は国土が狭く、山間部が多いため、どちらかというと、広

それだけに、公園は都市の中の

“オアシス”“語らいの場”であり、

大きな森に静かに孤独を楽しむという欧米の公園とは一味違った形態になつてゐる。特に都市部においては、公園を生み出すこといろいろなアイデアや工夫がこらされている。

わが国は国土が狭く、山間部が多いため、どちらかというと、広

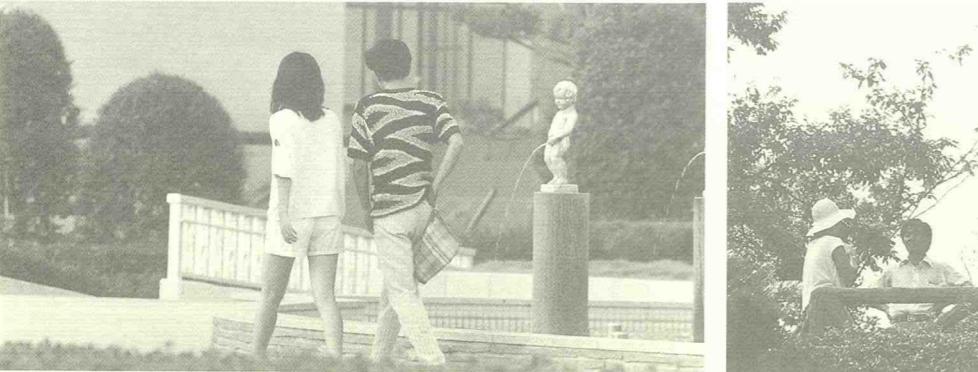
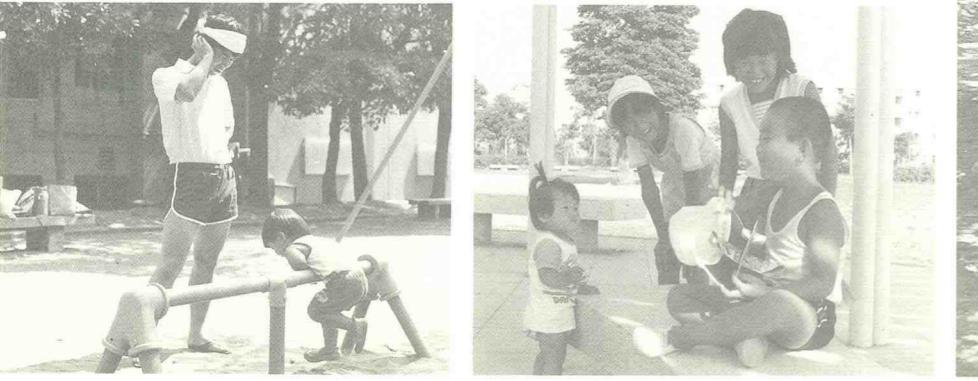
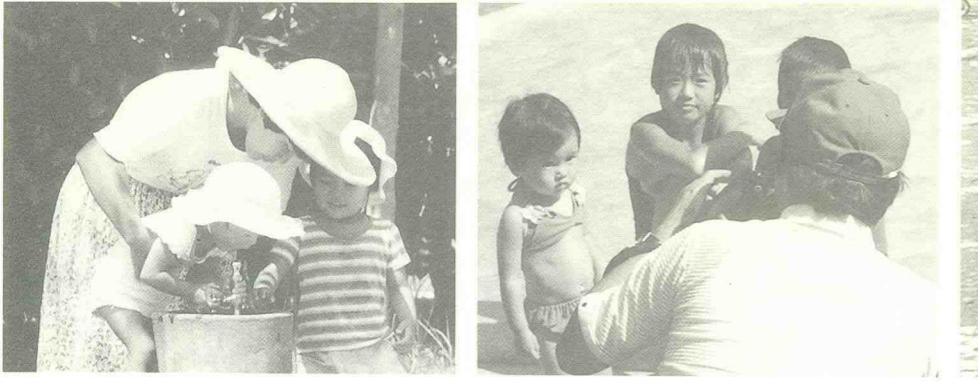
人びとのふれあいも濃い。対話する人、心を休める人、あるいは運動に汗を流す人と、文字どおり百態である。そして、疲れやストレスをいやし、そこから明日へのエネルギーが生まれていく。

スペースは、人の心を和やかにする。

スペースは人の心を大きく、和やかにするのだろうか。公園に散策する人びとの目はやさしく、話す言葉も耳に心地よい。

ブランコに遊ぶ父と子、父親の子供を見守るまなざし、砂場で遊ぶ母と子、母親の子供を呼ぶ声、どれも、いつもとは違っているようと思える。

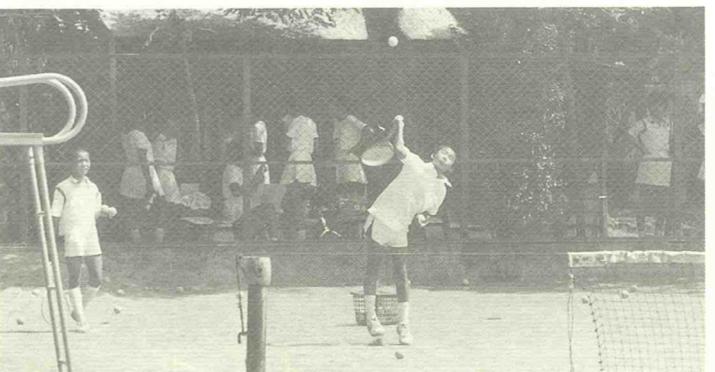
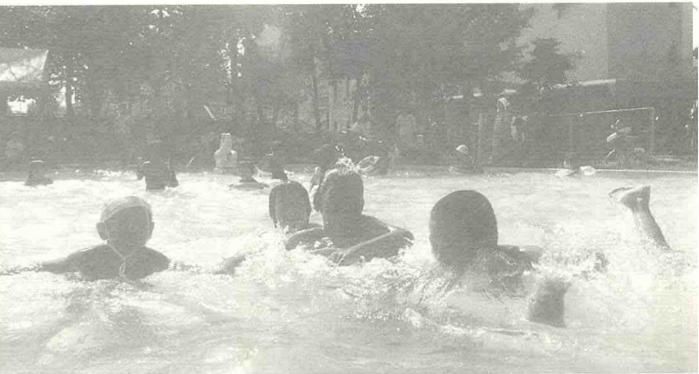
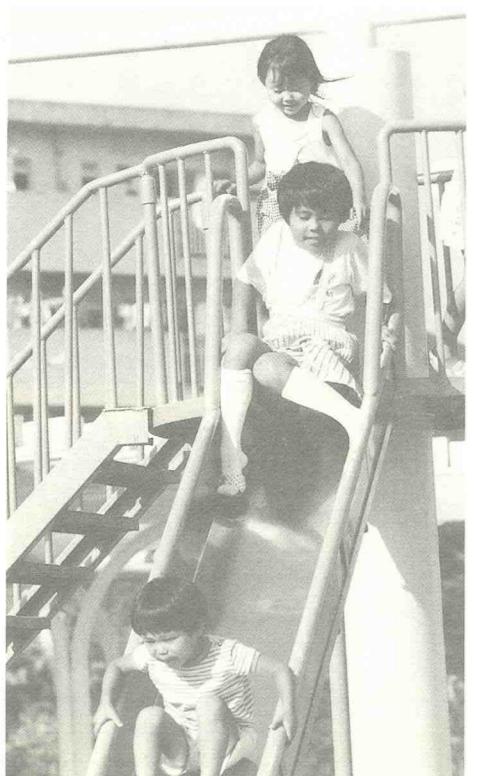
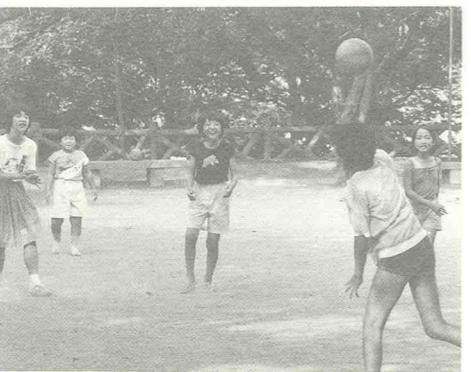
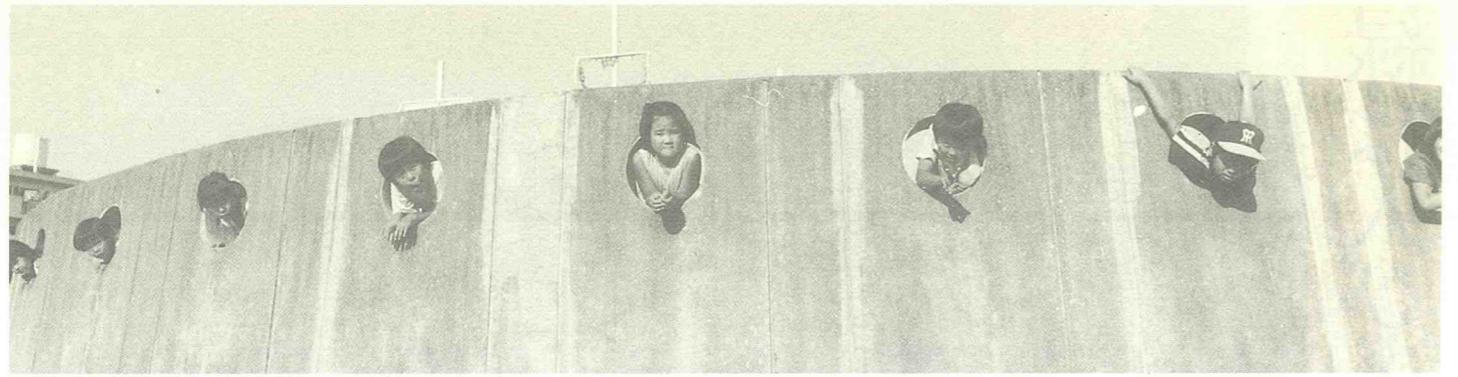
グループで公園に集う人たちの表情にもゆとりが見受けられる。



公園の主人公は、やはり子供たち。

遊び場が少なくなったと言われて久しい。しかし、昔、裏通りの路地で見かけた生き生きとした子供たちの表情が市内の各地域の公園で見かけられた。

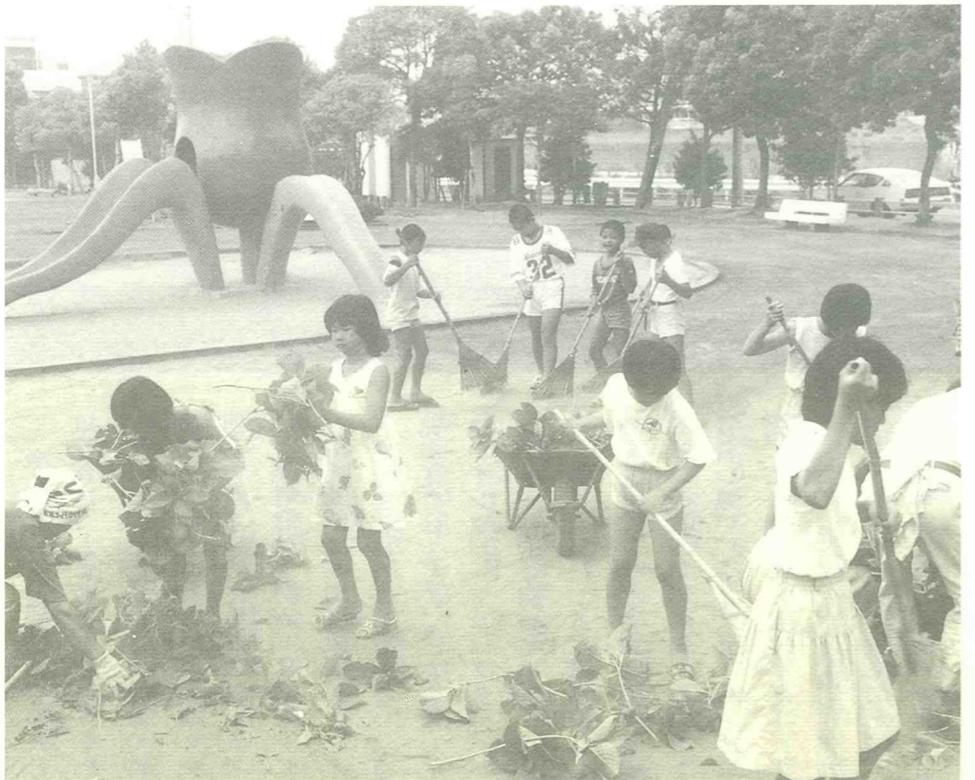
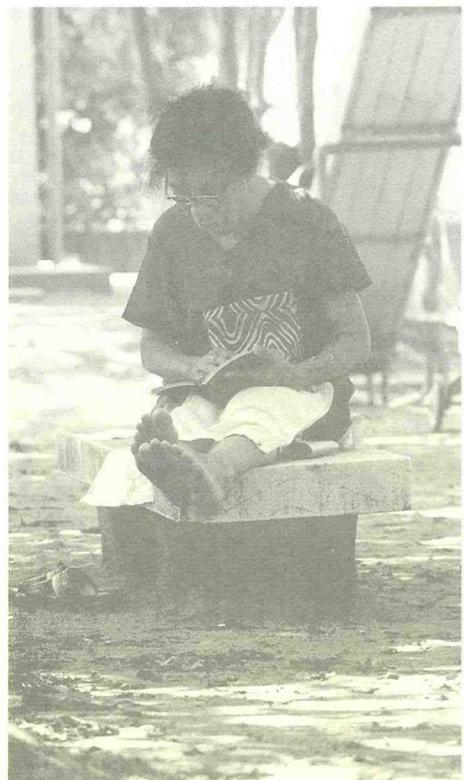
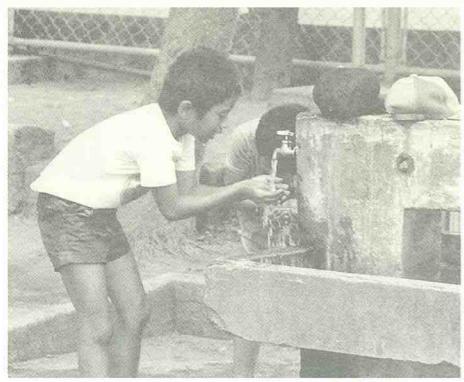
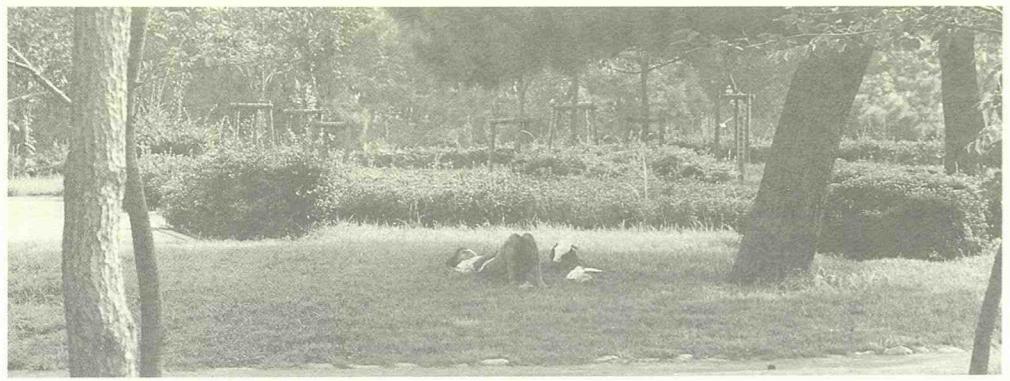
暑い日差しの中、遊具で遊ぶ子供たち。ちょうど夏休み—眠い目をこすつてラジオ体操。せみ取りの子供たちは暑さも何のその。テニスやソフトボールで夏に鍛える子ら。プールでは水しぶきに歓声があがる。



緑は人びとをやさしく包む。

緑は人間の生活に欠くことのできないもの、潤いと安らぎを与えてくれる。市内各地域の公園でもそんな光景を見た。木陰で休むお年寄りにはホッとした表情が、恋人たちの寄り添う後ろ姿には幸せな雰囲気が…。

公園の緑は、そんな人たちを包みこんでいるようだった。



●鹿児島市内にある「都市公園」	
※県立を含む	
児童公園	221 (もっぱら、児童や幼児が利用するための公園)
近隣公園	17 (主として、近隣や徒歩圏内に住む人たちのための公園)
地区公園	4 (主として、地区や徒歩圏内に住む人たちのための公園)
総合公園	2 (住民全体の休息、観賞、散歩、遊戯、運動など、総合的な公園)
運動公園	1 (主として、住民全体の運動用の公園)
風致公園	2 (主として、森林や河川など、自然界の美を享受するための公園)
緑道・緑地・その他	8
計	255

人物登場

鹿児島JJCの「けん引車」は 二十五歳。

鹿児島を深く愛するロマンチスト――。

ふるさとの“夢”実現にエネルギーに取りくむJJCの最年少理事長は、会員の信望も厚い。家庭では三歳の愛娘に眼を細める良き父親。

●鹿児島青年会議所29代理事長

米盛正豪さん

鹿児島市生まれ。鹿児島玉龍高校

から東京の国際商科大学卒。昭和四

十七年八月、鹿児島JJCに入会。テ

母親の六人暮らし。

ニスの得意な好青年。現職は天神ビ

――JJCは一世のお坊っちゃん集団では?と、ちょっと意地悪な質問をしてみた。

「私も確かに二代目ですし、二代目であることを拒否するつもりはありません。JJCの組織も先輩から受け継いだもので、今の会員も広く言えば、皆、後継ぎです。しかし、後継ぎとはいって、日々の蓄積がなければ支持されるはずもありません。私を含めたJJC会員はさまざまな奉仕活動を通じて、努力しているつもりです」。

――JJCは二世のお坊っちゃん集団では?と、ちょっと意地悪な質問をしてみた。

「私も確かに二代目ですし、二代目であることを拒否するつもりはありません。JJCの組織も先輩から受け継いだもので、今の会員も広く言えば、皆、後継ぎです。しかし、後継ぎとはいって、日々の蓄積がなければ支持されるはずもありません。私を含めたJJC会員はさまざまな奉仕活動を通じて、努力しているつもりです」。

――JJCは二世のお坊っちゃん集団では?と、ちょっと意地悪な質問をしてみた。

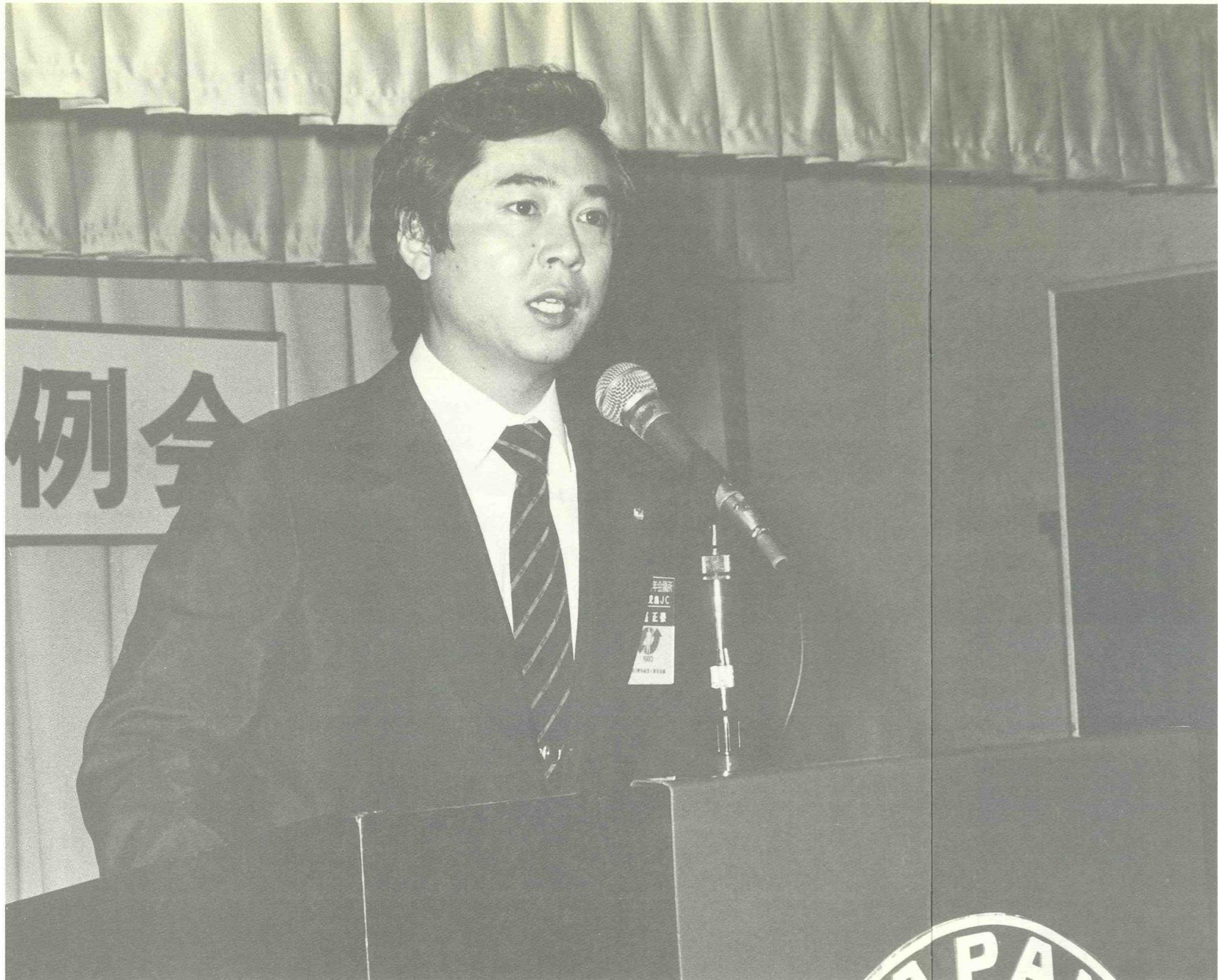
「私も確かに二代目ですし、二代目であることを拒否するつもりはありません。JJCの組織も先輩から受け継いだもので、今の会員も広く言えば、皆、後継ぎです。しかし、後継ぎとはいって、日々の蓄積がなければ支持されるはずもありません。私を含めたJJC会員はさまざまの奉仕活動を通じて、努力しているつもりです」。

――JJCは二世のお坊っちゃん集団では?と、ちょっと意地悪な質問をしてみた。

「私も確かに二代目ですし、二代目であることを拒否するつもりはありません。JJCの組織も先輩から受け継いだもので、今の会員も広く言えば、皆、後継ぎです。しかし、後継ぎとはいって、日々の蓄積がなければ支持されるはずもありません。私を含めたJJC会員はさまざまの奉仕活動を通じて、努力しているつもりです」。

――JJCは二世のお坊っちゃん集団では?と、ちょっと意地悪な質問をしてみた。

「私も確かに二代目ですし、二代目であることを拒否するつもりはありません。JJCの組織も先輩から受け継いだもので、今の会員も広く言えば、皆、後継ぎです。しかし、後継ぎとはいって、日々の蓄積がなければ支持されるはずもありません。私を含めたJJC会員はさまざまの奉仕活動を通じて、努力しているつもりです」。



撮影/水谷 進

文/山田英幾

NHK記者

ば、意味はあると思います。僕が考へている将来の春まつりのビジョンを聞いてくれますか。きれいになつた甲突川河畔に、ぽんぱりをつる。春の宵にね。そこで小さな野外コンサートが開かれている。ここでは弦楽四重奏、あちらではフォークソング。市民は散策しながら音楽と花の香りを楽しむ。そんな祭りにしたいんですよ。夢のような話ですけど」。

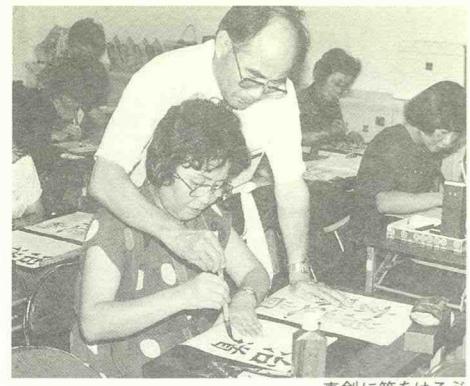
一語一語考へて、ゆっくりしゃべる。記者の意地の悪い質問も、はぐらかさず、懸命に答える。かといって、決して線が細いわけではない。鹿児島をこよなく愛すロマンチスト。さわやかな印象が残つた。

――おはら祭にしろ、祇園祭にしろ「作られた祭典」のにおいが強すぎて、市民が心から楽しむ祭りとは言い難い。「春まつり」も、その例にもれないのでは?

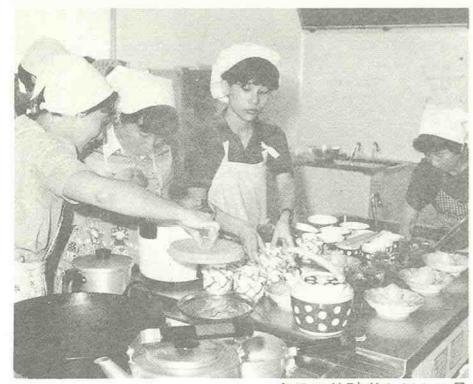
「今は、そうかもしれません。でも、県外の観光客が来ることで、少しでも鹿児島の経済が浮揚すれば大々的に開いている」。

――おはら祭にしろ、祇園祭にしろ「作られた祭典」のにおいが強すぎて、市民が心から楽しむ祭りとは言い難い。「春まつり」も、その例にもれないのでは?

「今は、そうかもしれません。でも、県外の観光客が来ることで、少しでも鹿児島の経済が浮揚すれば大々的に開いている」。



真剣に筆をこぶ



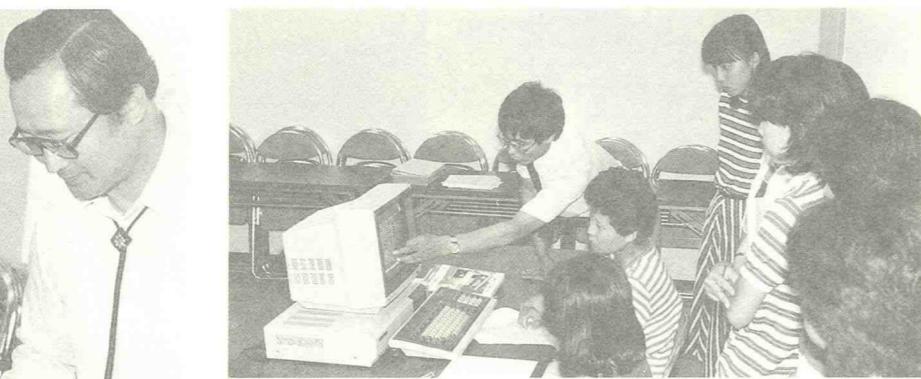
今日は茶碗蒸しぬか3品



手先を器用に動かして、レジンアート

勤労婦人センターの良さは、自分の家ではできない勉強を余暇を利用して、友だちと一緒に学べることです。もっと、多くの女性に利用してほしいと思います。

勤労婦人センターの良さは、自分が開かれており、講座を終了した人たちで自主クラブをつくり、活動しているグループも多いそうです。託児室に行ってみると、小さな子供たちが元気に遊んでいました。幼児のいるお母さんでも、安心して勉強できるようになっているのに感心しました。



コンピューターに挑戦

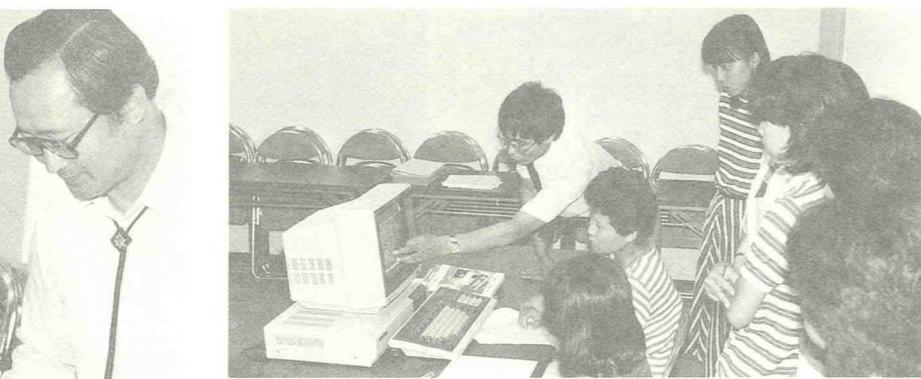


思いっきり、スマッシュ!

ご婦人たちが次々とやつて来られましたが、どの人も、にこやかに「ここにちは」とあいさつされるのが印象的でした。所長さんの話では、ここでは、お互いのあいさつを非常に大切にしているそうです。説明を受けた後、センターの中を案内していただきました。

最初に、生け花講座の新池坊を見学しましたが、みなさん、とても真剣なまなざしで花に取り組んでおられました。話を伺うと、「自分の好きなことを友だちと勉強できるので、大変楽しいですよ」と目を輝かせて話してくださいました。

また、他にもいろいろな講座が開かれており、講座を終了した人たちで自主クラブをつくり、活動しているグループも多いそうです。託児室に行つてみると、小さな子供たちが元気に遊んでいました。幼児のいるお母さんでも、安心して勉強できるようになっているのに感心しました。

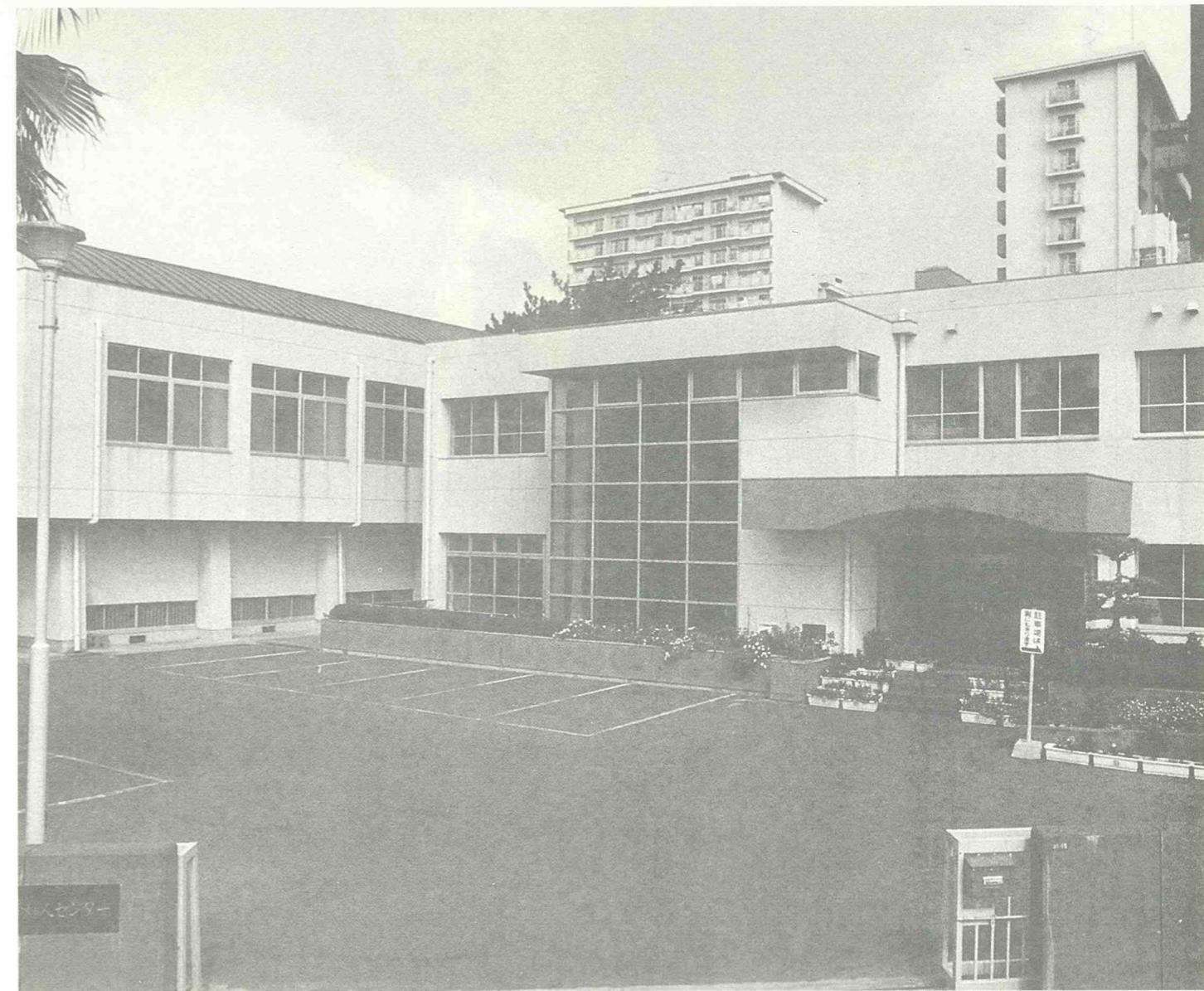


講座・華道、見学する福岡君と山下さん

ぼくらの施設めぐり

市勤労婦人センター

文/福岡 茂幸・山下いづみ
(天保山中2年)



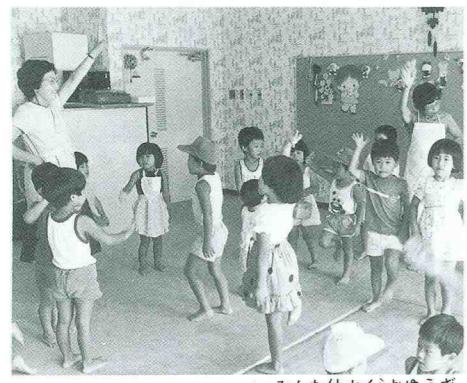
「婦人の館」として、利用者は11万人を超えた

先日、初めて勤労婦人センターを見学しました。行ってみると、ガラス張りの箱のような建物で、とても明るくて、きれいなところでした。

まず、談話室で所長さんから勤労婦人センターについての説明を受けました。話を聞いている間に坂根所長から説明を受ける福岡君と山下さん



子供とお母さんに遊び方の指導も…



みんな仲よくおゆうぎ。



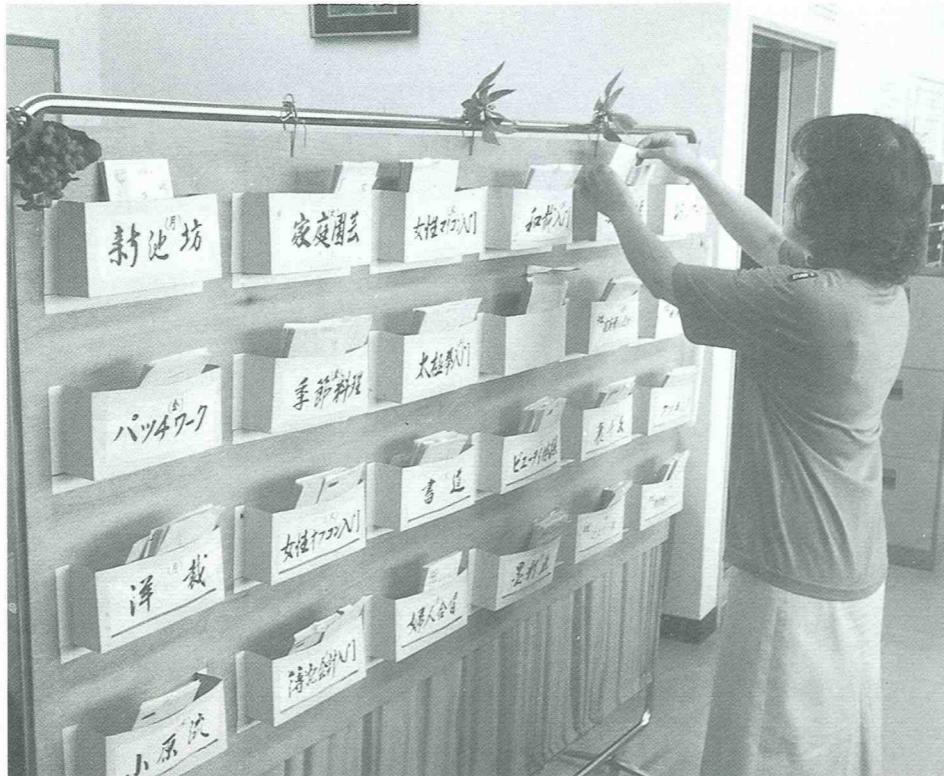
談話室では明るい笑い声が…



通路には受講生の作品も展示

		7月 25日(月)曜日		
		本日の行事予定		
室名 区分		和室	ABC	相談室
講習室A		和室	ABC	相談室
講習室B		和室	ABC	相談室
新池	歴史	和室	ABC	相談室
午前の部		和室	ABC	相談室
午後の部		和室	ABC	相談室
夜間の部		和室	ABC	相談室
備考		和室	ABC	相談室

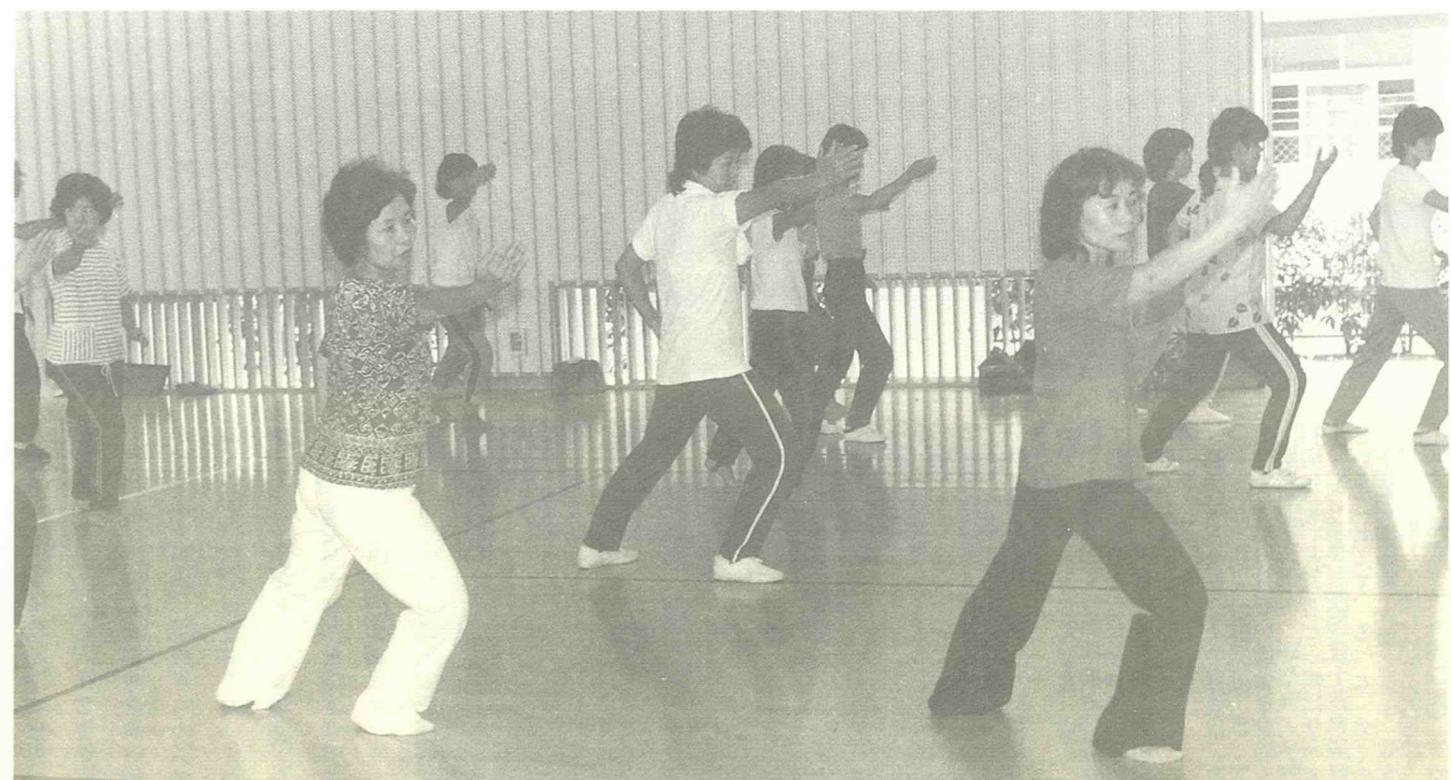
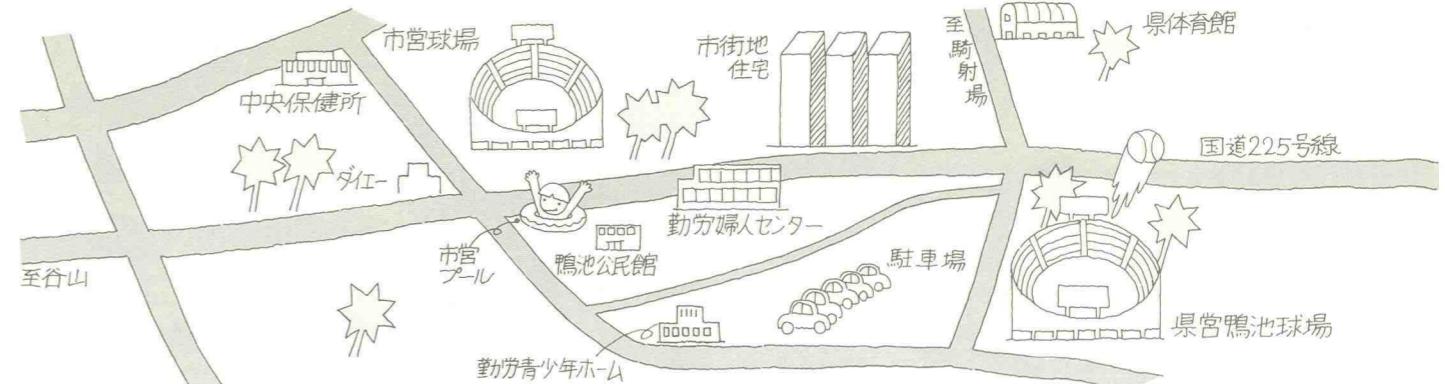
行事予定は入り口の所に



講座への申し込みは抽選で



今、人気のビューティ体操



美容と健康のための太極拳

昭和36年●

飛んで22年

●昭和58年

空から見た街の表情



西鹿児島駅付近

鹿児島の表玄関——西鹿児島駅。

駅舎のあたりは昭和三十六年当時と、そんなに変わっていない。しかし、駅前広場は「若き薩摩の群像」も建ち、ガラリと姿を変えた。周囲にはビルが続々と。

南国日生ビルは昭和四十一年にでき、中央郵便局も昨年十一月に九州一の局舎に生まれ変わった。一番街もアーケードになつて久しい。ナポリ通りの春は、くすの緑とつつじの花の織りなす景観で、人びとの目を引きつける。



撮影／水谷進

と、私“ドキッ”とするんですよね。主人から言われるよりも…(笑い)

“鬼火たき”とか“にせんこ祭り”などを行っております。



高島 “鬼火たき”というのは正月七日の行事ですよね。“にせんこ祭り”というのとは…。

中俣 やはり一月にありまして、私も大好きな行事なんですよ、いわゆる立志式なんですね。

十五歳になる男の子を集めて、会長さんをはじめ、地域の大人たちが宴会を開いてくれるんです。そして「お前たちは、もう大人なんだからしっかりしろよ」と励ましの言葉をいただくわけなんです。

私の息子の場合も、この日を境にだいぶ大人としての自覚を持つてくれたようです。

市長 なるほど…。ところで、中俣さんは谷山北中の地域PTAでも、いろいろな活動をなさつておられるということですね。

中俣 私の所は竹ノ迫といいまして、百九十世帯ほどの地域です。

元からの方は四分の一ぐらい、あとは宅地造成などで新しく入つて来られた方々なんです。

地域全体で子供たちを育てていて、特に、昔から伝わっている伝統行事は新しい人たちも一緒になつて

引き継いでいることで、



●中俣さん

親子のふれあいを
大切に

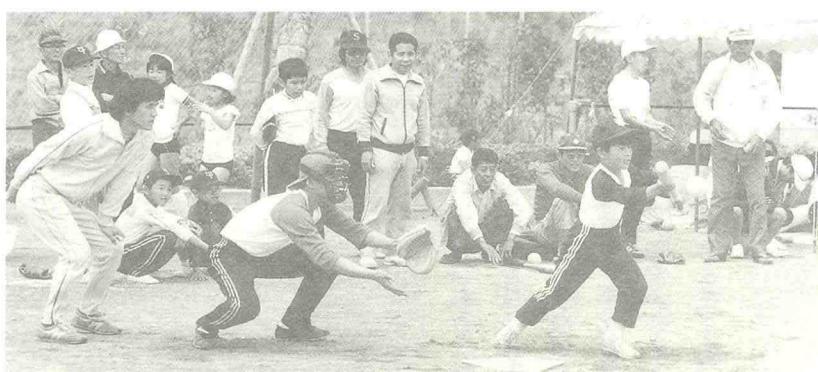
高島 それぞれの立場で一生懸命の母お母さん方のお話でしたが…。

大野 果たしてそなのか、私ははつきりしないんですよ。と言うのは、私が子供のころは父と一緒に野良仕事をしたりしながら、父は力も強いし、いろんなことを知っている、そして、仕事も上手だということで、自然に尊敬し、畏敬の念を抱くようになつていったと思うんです。ところが、今のお父さん方というのは、子供と昼間に過ごすことはないですし、仕事から帰つて来ても食事をし、焼酎を飲み、テレビを見る…、そういうことですから、子どもとの対話の時間がないわけですよね。

毎日、五分でもいいから子供と話し合うとか、土曜の午後や日曜などは子供を連れて野山を歩くとか、そういう機会を少しでも持てるように努力をする必要があるんじゃないかと思いますね。

高島 お忙しいお父さん方ですが、ぜひ、親子のふれあいということについても心を配っていただきたいのですね。

高島 まだまだお話をいただきたかったのですが、お別れの時間が近づいてまいりました。市長さん、最後にお願いします。



中俣 私の家では、朝ごはんの時に“おはようござります”というあ

的子育てが始まるお母さん方にイスなどをいただきたいと思いますが…。先輩のお二人から一言ずつアドバイスを信頼することは、親にとつては苦しいことも多いんですけどもあげるということですね。

小窪 大切なことは、子供を信じてあげることだと思います。子供の意志を尊重して、見守つてあげるということですね。

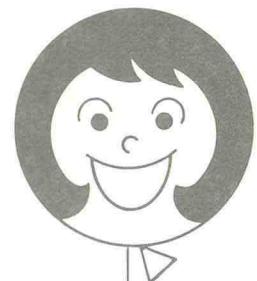
市長 今日は、それぞれのゲストの皆さんに体験に基づいた、味わい深いお話をいただきまして、テレビをご覧の皆さんも、大変参考になったという方が多いんじゃないかなと思います。

二十一世紀に向けての社会づくり、それを担う子供たちの人間づくりは、私たち大人の責任です。家庭や学校、地域が一体となつて、今後とも、市民みんなでこの大きな課題に立ち向かっていくなければならないと思います。

高島 皆さん、今日はどうもありがとうございました。



●高島さん



奥様

服飾デザイナー 濱園 津代さん

こんにちは…

「魂がこもらなければ、服はバラになってしまう」オーナー兼デザイナーとして、この道二十七年。絶えず仕事を軌道に乗せることを考えている。登るのは一段ずつだが落ちるのは一気にだから、と。部屋には、一年も前に注文を済ませておくという服地が所狭しが並んでいる。遠くはスイスからの

「絵が好きで、二、三年前にもアムステルダムの美術館まで出掛けました。レンブラントの光と影の作品が素晴らしかったわ。市場や本場のファッショショーンショーを見たり…見ることは大切ですね」。見ることによってプラスになるものを受けし、色使いも少しずつ変わっているという。

「サーフィンをしてみたけど、樂しかったわ。次はぜひ、スカイダイビングを…。でも、主人が心配するから」と笑う。

洋裁の道と切り離した自分は考えられない、と。気分転換にピアノを少し。趣味は『仕事』。二人三脚で頑張っているオーナーのご主人と高校二年生の博文君に囲まれて、夢は広がっていく。「人間、夢を失つたら終わりですもの。何にでも挑戦したいし…。時間が欲しいですねえ」。

ものも見受けられる。

「絵が好きで、二、三年前にもアムステルダムの美術館まで出掛けました。レンブラントの光と影の作品が素晴らしかったわ。市場や本場のファッショショーンショーを見たり…見ることは大切ですね」。見ることによってプラスになるものを受けし、色使いも少しずつ変わっているという。

おぎおんさま

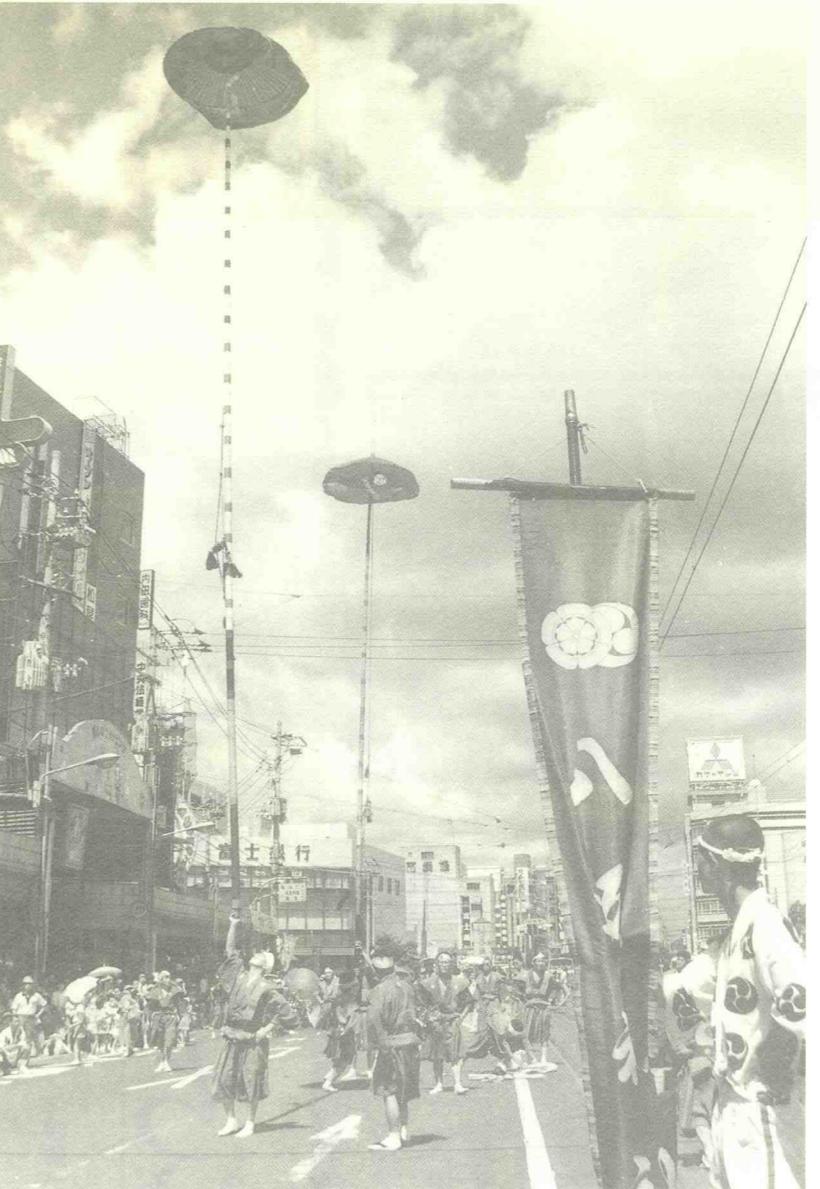
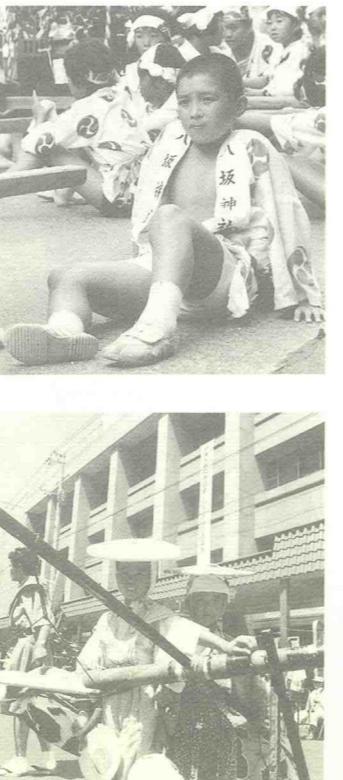
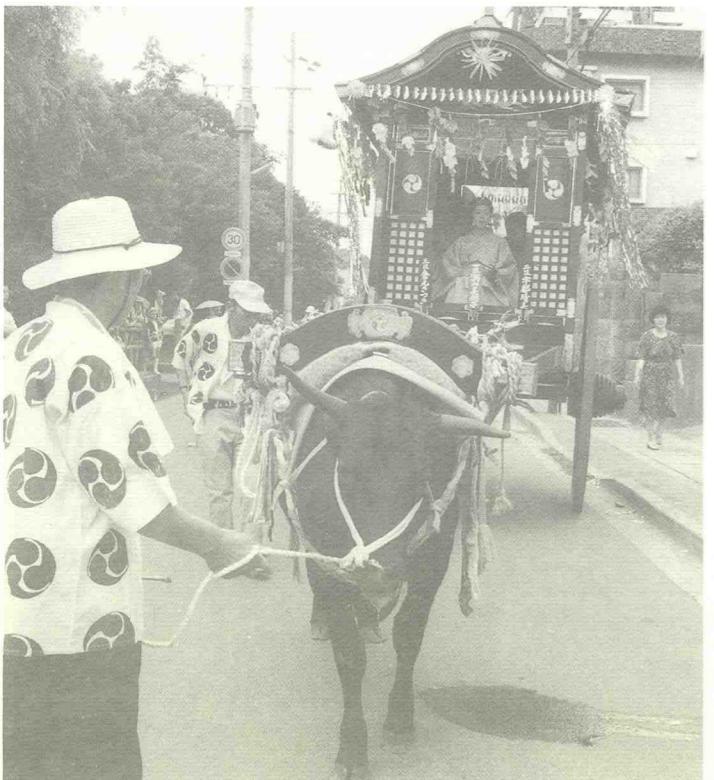
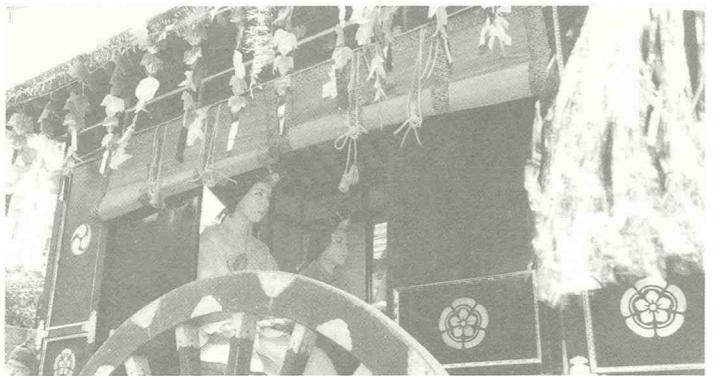
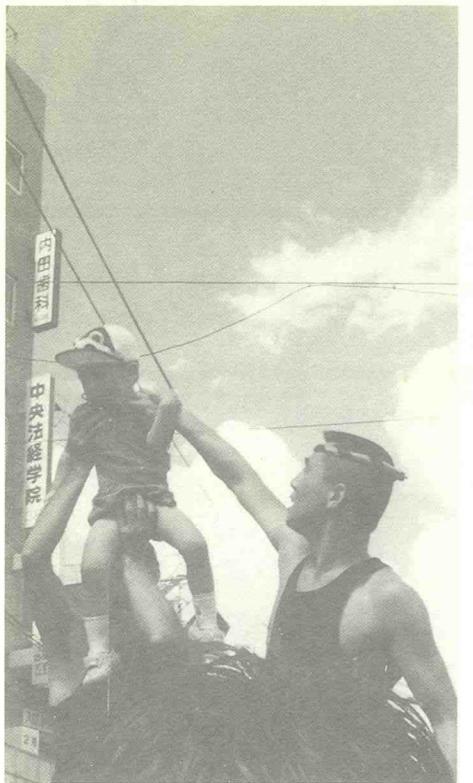
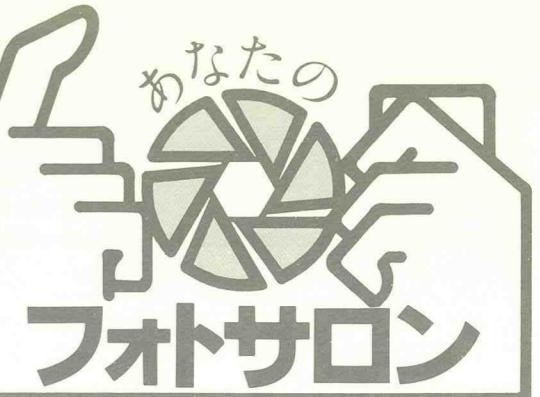
鹿児島の夏の祭り「おぎおんさま」

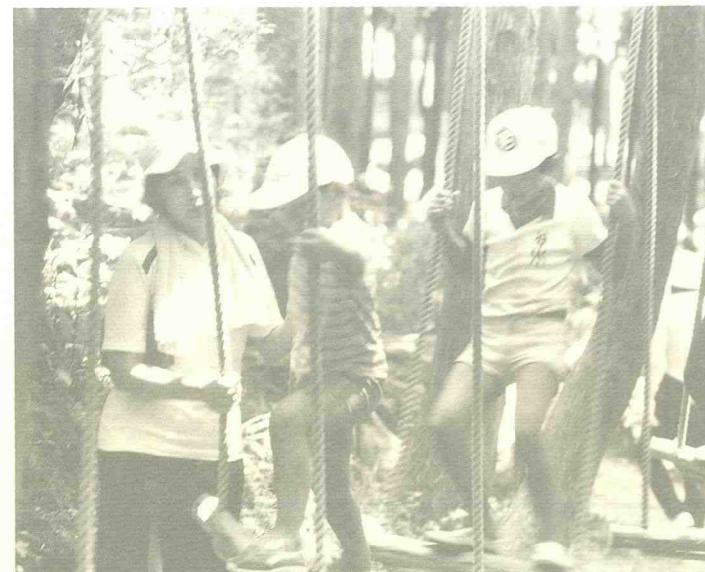
今年も、炎天下、十五万人余りの市民が鉾、太刀、弓、傘、十二載女などの行列、數種の山車など、ご神幸行列の通る沿道を埋めました。

しかし、ハイライトは金鉾と神輿。金鉾立ての妙技には、やんやの拍手が、神輿には、ちから水も飛んで、ワッショイ、ワッショイ

のかけ声が暑さをふきとばしました。「祭り」は、誰のものでもなく、地域に住むみんなのものだといわれます。この伝統的な祭り「おぎおんさま」——以前にくらべて少し寂しくなったと思います。伝行事

写真と文／岡野 勝夫





キャンプで語りうる親子のつどい

市立少年自然の家で、夏休みに開かれたこの催しに八十家族、二百人余りが参加した。吉野の自然に抱かれた子供たちの顔は、いつも見ている町の中の子供の顔とどこか違う。ファインダーの中で輝いている。

市立少年自然の家で、夏休みに開かれたこの催しに八十家族、二トの中から聞こえる親子の会話は夜がふけるのも忘れたかのように続く。“ふれあい”を笑い声や会話の中に見たようだつた。家庭ではどうなのだろう。

今夜、テントの中で子供たちは楽しい夢を見たに違いない。

写真と文／上水流 誠



いづろ通り界わい

料理研究家 今村 知子

石造りの家並みで…
問屋が軒を連ねてた。

昭和十四、五年ごろでしょうか。

私が住んでたころのいづろ通りや
広馬場界わいは、大変にぎわつて
ましたね。船着き場が近くだった
こと也有つてね。

鹿児島の問屋街つて感じで、石
造りの大きな呉服店や金物店、履
物屋などが軒を連ねてた。それに
朝市もあつたから。

石灯ろうのほかに、ガス灯みた
いな街灯も並んでて、たそがれ時
はエキゾチックな雰囲気でした。
大国主神社の前では、拌んで通つ
たものでしたよ。

広馬場は大きい通りで、よく石
けりや国盗りなどして遊んだわ。
土の道でしたから、石で地面に大き
な円を描いてね。この鹿銀の正
門のあつた辺りは、きっと昔のま
まの建物ですよ。

“おぎおんさあ”も壮观でしたね。
牛の引いた山車だしも多かつたし、お
稚兒さんの行列、かわいかつたわ。

ほら、裏通りの辺りには、あめ
屋や一錢店屋もあつて、あめ玉や
コンペートーなど買って…。

小学五年ぐらいまで父と城山登
山してたの。だから、散歩もやは
り朝がいいですね。あのころは、
朝方あさり貝の売り声などがして
のどかな、うるおいのある風情で
したよ。

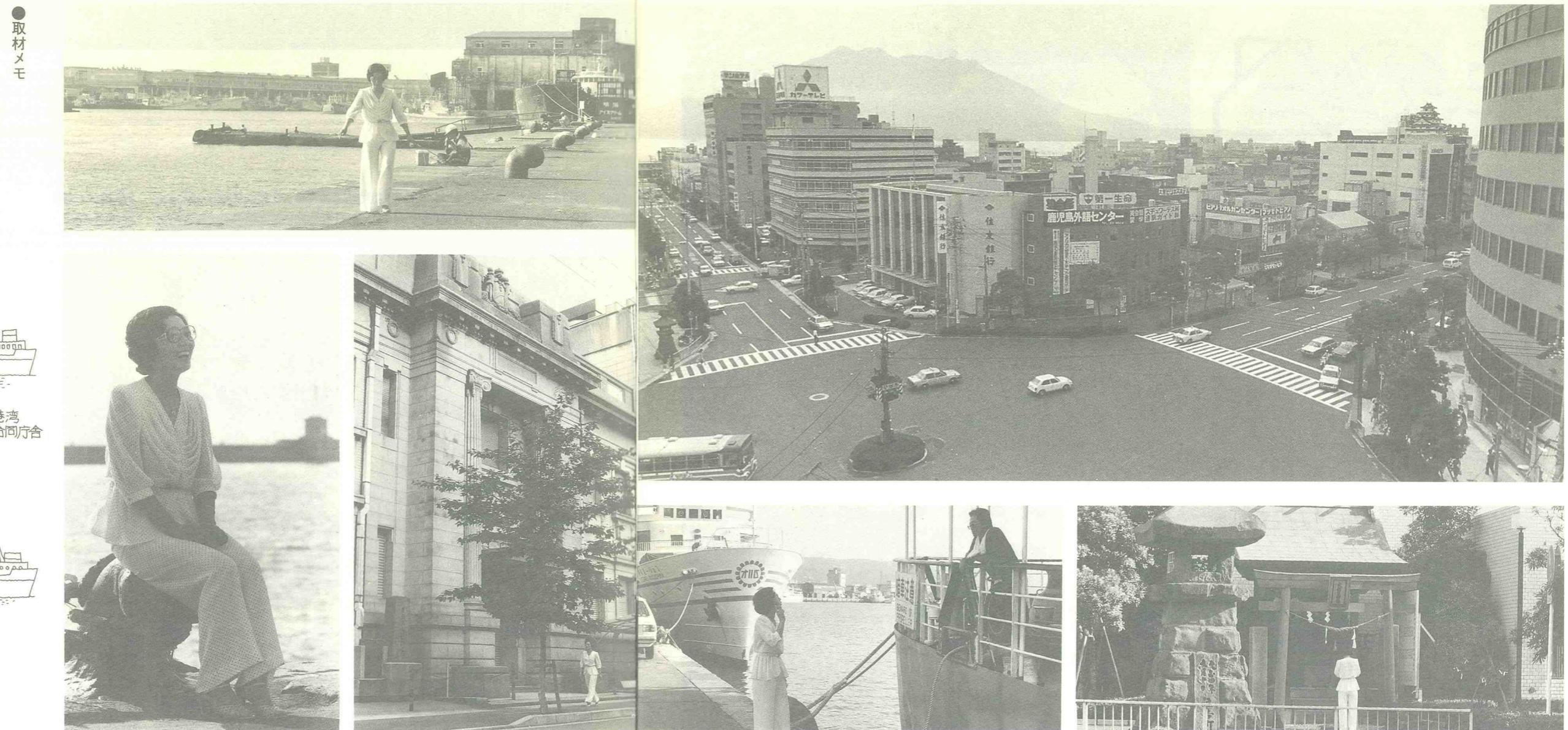
築港にも従兄とよく釣りに来て
たの。陸釣りの人たちがいっぱい
いて、釣り舟も結構多かつたわ。
桜島も父に連れられてよく渡つた
わ。早朝、桜島大根を満載したボ
ンボン船が市場に向かつてた。ここ
に掛けてると、何か汽笛が聞こえ
てくるようで、なつかしい。

この海岸通り付近は臨港倉庫が
もつと多くて、小さな食堂もあつ
て、活気があつたみたい。

昔、納屋通りで見た魚や豆腐、

父と中央市場で買ってその朝食べ
たキビ刺し、祖母が作ってくれた
アヒやイワシのつけ揚げ、あの幼

い日の味が舌に残つてた。だから
料理の道に入つて、その味がはつ
き蘇つきましたよ。（談）

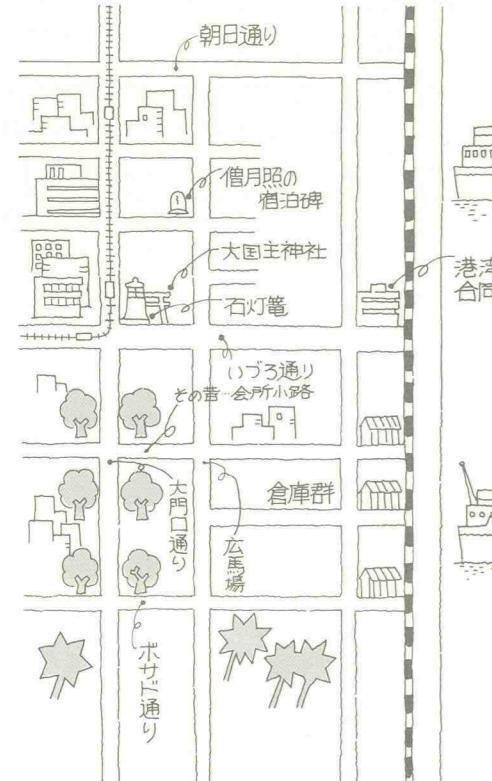


●取材メモ
ざつくばらんで、ポンポンと歯
切れのいい語り口に時の経つのを
忘れた。いづみ学園鹿児島調理師
専門学校など経営するほか、幅広
く活躍中。席の温まる暇がないの
が美しさを保つ秘訣とか。
著書に「食べてやせられる献立」
「鹿児島郷土料理全書」があり、最
近、「知るトク作るトク春夏秋冬」
「みその味」を出版。

ざつくばらんで、ポンポンと歯
切れのいい語り口に時の経つのを
忘れた。いづみ学園鹿児島調理師
専門学校など経営するほか、幅広
く活躍中。席の温まる暇がないの
が美しさを保つ秘訣とか。

著書に「食べてやせられる献立」
「鹿児島郷土料理全書」があり、最
近、「知るトク作るトク春夏秋冬」
「みその味」を出版。

「みその味」を出版。



わたしの散歩道

6月1日・劇団「カッパ座」が愛の福祉基金に寄付

主役のペチャンコから益金の一部の贈呈を受けた市長は「ありがとう、これからも立派な公演を続け、子どもたちに夢を与えて…」と激励。



6月10日・北国の香り、6千本を市民にプレゼント

このスズランのプレゼントは毎年、帯広市と十勝観光連盟が行っているもので、市立病院に入院の方々も北国の使者にご満悦の様子でした。



6月28日・市政を考える婦人会議

会場の中央公民館には約140人のご婦人が参加。青少年の健全育成やボランティア活動の進め方などについて意欲的な意見が出されました。



6月23日・サクランボ娘、山形路をPR

一行は山形県の観光宣伝のため来鹿。ほどよく色づいたサクランボを前に「みちのく山形へどうぞ」とPR。

7月13日・ナベヅルのヒナ、すくすく育つ

平川動物公園の天然記念物・ナベヅルが日本で初めて2羽のヒナをかえしました。「とも」と名付けられた1羽は親鳥が直接、子育て。



7月25日・大垣市中学生親善使節団、鹿児島市を訪問

岐阜県大垣市は薩摩義士の木曾川治水が縁で、鹿児島市と交流が続いている。一行13人は市役所訪問の後、薩摩義士、平田公園を訪ねました。

7月20日・漁礁づくりに廃車バス11台を投入

錦江湾の沿岸2カ所に投入された魚のアパート。順調にいけば、タイ、イサキ、イセエビの宝庫になると、漁業関係者に期待されています。



7月26日・皇太子ご夫妻、来鹿

皇太子ご夫妻は、7月26日から指宿市で行われた自然公園大会に参加。昨年の高校総体以来一年ぶりの来鹿に沿道は奉迎者で埋まりました。

あの店

この店

国分屋菓子店

大黒町

この店の「げたんは」を大正生まれのおやじが食べた。「こいじやがア」と一言。お茶を飲んだ。

かつて、一銭菓子と呼ばれた庶民の味は多い。げたんは、まるぼうろ、からいもあめ……。その素朴な味は根強く生きている。

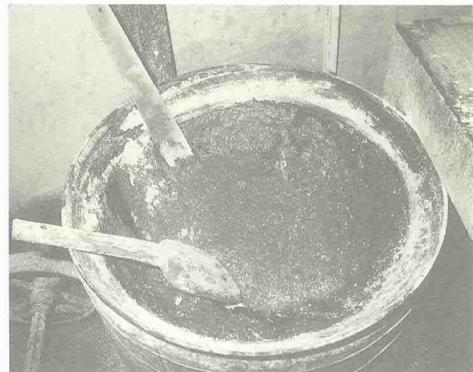
げたんははその代表格。黒砂糖などをみ込まれた味は、豊かなふるさとの味と幼いころの思い出に結びつくらしい。

ご主人はこの店の二代目。作業場には、黒砂糖とふくらし粉のにおいが漂う。練る、切る、焼く、塗る——今でも、父親から受け継いだ製法をそつくり守り、奥さんと二人だけの手仕事。誠実な仕事

ぶりが頼もしかった。



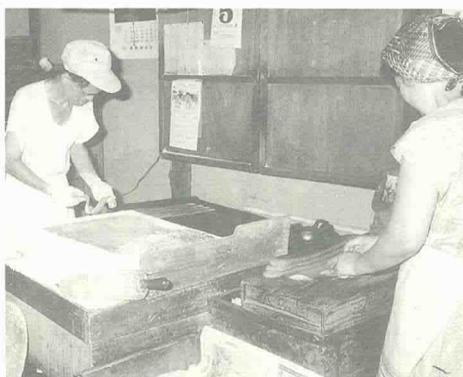
大正7年、この地に開業



原料はメリケン粉、ふくらし粉、黒砂糖など



黒砂糖のタレを塗って、かまへ



黒砂糖あめ、まるぼうろ、ちょくまんじゅうも作る



三角とも呼ばれるげたんはは、かつては一銭に2枚



かまに入れて6分、こうばしい香りが…

▼「市民フォト鹿児島」第14号をお届けします。
梅雨のあとは、近年にない大型の夏。昼はカツと照りつけ、クーラー無しには眠れない熱帯夜が続きました。このフォトが発行されるころには、いくらかでも涼を取りもどしてくれないかなー。クーラーも持て余してる熱帯夜”正司

▼第14号では市内の公園を特集しました。広大な森や林をもつ人びとが静かに散策し、孤独を楽しんでいます。山と海に囲まれた狭い国土の日本の公園は、欧米のそれと本質的に異なっています。なかでも、市街地の公園は、レジャー、あるいは運動施設の要素を取り入れ、少ない土地に创意と工夫をこらして、市民の憩い語らう場にしています。公園には仲間があり、笑いがあり、親子のふれあいがあります。

編集後記

▼「市民フォト鹿児島」第14号を



市立美術館

富嶽雲烟の図

木 村 探 元

（作者）延宝七年（一六七九）、鹿児島市生まれ。元禄十六年（一七〇三）京都の狩野探信（探幽の子）に入門。帰郷後、能勢探竜、押川元春など優れた門人を養成し、のち、彼を中心とする画派が江戸時代、薩摩画壇を代表することとなつた。狩野派の伝統に雪舟、秋月などの水墨画の特色を取り入れた画風で、全体的に質実剛健の氣風があり、『見事探元』と称された。明和四年（一七六七）、八十九歳で没した。



市立美術館館長 四 戒 典 夫
（解説）探元七十五歳の作。大障紙（洋画の百五十号M程度）に描かれた水墨画で、彼の作品の中では最大級のもの。画面の中央左寄りに山頂を置き、右に長く裾を引いて雲煙の間に望む夏の富士山の景観である。

近景に何も描かれていないため、富士の雄大さが一段と強調され、また、画面の大半を占める夏雲のいろいろな形のたたずまいが、静的な画面にわざかに動的な要素を与え、縹渺とした氣品を感じさせる名作である。

落款は「癸酉夏日三曉菴靜隱老翁自季七十五歲」と読める。

この作品は、昭和二十七年に元館長であった谷口午二氏から市に寄贈されたもので、昭和四十二年、県の指定有形文化財（絵画の部）となつてゐる。

なお、当美術館所蔵の探元作品には、他に「雪景山水」、「松に麒麟」などがある。



友人関係、家庭問題、学業、性の悩みなど、青少年の皆さん、何でもご相談ください。お子さんの非行、非行の兆し——どんな助言を与え、どのように子供とのふれあいを求めるべきか、お悩みのお母さん方へご相談ください。専任の相談員が相談に応じます。



悩むな青春！

悩みこと電話相談

824-2000

●相談日時／毎週(日)(木)10時～12時
毎週(木)14時～16時

鹿児島市立青少年補導センター

市政の話題を身近に

あなたのお住まいの地域の話題、市役所からのお知らせなどをテレビでお茶の間にお届けしています。



●市民のひろば…MBCテレビ

毎週日曜日の朝8時から15分間放送（ただし、毎月第3日曜日は休み。毎月第4日曜日は朝8時から30分間放送）

●市政の窓…KTSテレビ

毎週土曜日と日曜日の2回放送。土曜日は12時55分から5分間、日曜日は夕方4時55分から5分間放送。

●かごしま市政ガイド…KKBテレビ

毎週日曜日の朝11時45分から5分間放送。